

平成26年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ウイズ
 コード番号 7835 URL <http://www.wizinc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 横井昭裕
 (氏名) 大関浩一

TEL 03-3534-3180

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第1四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第1四半期	341	3.0	△96	—	△92	—	△92	—
25年5月期第1四半期	331	17.6	△116	—	△114	—	△115	—

(注) 包括利益 26年5月期第1四半期 △90百万円 (—%) 25年5月期第1四半期 △116百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第1四半期	△29.98	—
25年5月期第1四半期	△37.54	—

(注) 当社は、平成24年12月1日を効力発生日として、1株につき100株の割合で株式分割をおこなっておりますので、前連結会計年度の期首に当該株式分割がおこなわれたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年5月期第1四半期	2,135	1,340	62.8	434.96
25年5月期	2,315	1,430	61.8	464.27

(参考) 自己資本 26年5月期第1四半期 1,340百万円 25年5月期 1,430百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年5月期	—	—	—	—	—
26年5月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,230	26.4	△73	—	△73	—	△75	—	△24.34
通期	2,650	21.2	102	306.3	102	299.6	82	319.1	26.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年5月期1Q	3,081,600 株	25年5月期	3,081,600 株
26年5月期1Q	— 株	25年5月期	— 株
26年5月期1Q	3,081,600 株	25年5月期1Q	3,081,600 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注)当社は、平成24年12月1日を効力発生日として、1株につき100株の割合で株式分割をおこなっておりますので、前連結会計年度の期首に当該株式分割がおこなわれたと仮定して株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の財政・金融政策への期待感から、極端な円高は是正され、それに伴い輸出中心の企業関連の業績改善が目立つようになり、加えて、長らく低迷していた個人消費も改善傾向が見られ始めました。しかしながら、引き続き新興国の成長鈍化、欧州債務不安等の問題は存在し、先行きの不透明な状況も残っております。

このような状況のもと、玩具市場は、個人消費が改善傾向にあるといえども、一部の人気キャラクター関連商品及び定番商品の販売等を除いては全体的に低調に推移し、厳しい状態にあります。

当社グループは、このような厳しい業界環境を考慮し、前連結会計年度に引き続き、当連結会計年度も固定費の削減に努め、基幹事業であるOEM製品販売に加え、オリジナル商品販売事業の成長拡大のために経営資源を集中し、通期の黒字化を達成するとともに、将来に向けた事業組織の基盤の再構築をおこなっております。

OEM製品販売は、主力である「たまごっち」シリーズは堅調に推移し、その他のOEM製品の納品とあわせほぼ計画通りに進捗しております。

オリジナル商品販売につきましては、新たな商品シリーズ等を発売し、ほぼ想定どおりに推移しています。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、3億41百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

利益面においては、営業損失は96百万円（前年同期は1億16百万円の営業損失）、経常損失は92百万円（前年同期は1億14百万円の経常損失）、四半期純損失は92百万円（前年同期は1億15百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ1億80百万円減少し、21億35百万円となりました。これは、主に原材料及び貯蔵品の増加12百万円、仕掛品の増加10百万円があった反面、受取手形及び売掛金が1億88百万円、現金及び預金が11百万円減少したことによるものであります。

負債の部につきましては、前連結会計年度末と比べ90百万円減少し、7億94百万円となりました。これは、主に借入金41百万円、支払手形及び買掛金が17百万円減少したことによるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末と比べ90百万円減少し、13億40百万円となりました。これは、主に当第1四半期連結累計期間の純損失計上による利益剰余金の減少92百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、概ね当初計画どおりに推移しており、平成25年7月4日に発表いたしました数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度においては当期純利益を計上しておりますが、前々連結会計年度まで2期連続して当期純損失を計上するとともに、当第1四半期連結累計期間におきましても営業損失96百万円、経常損失92百万円、四半期純損失92百万円を計上しております。これらの状況により、当社には継続企業の前提に関する重要事象等が存在しており、当社グループは当該状況を解消すべく、次のような取り組みを実施しております。

① 売上高の拡大

OEM製品販売においては、組織の効率化・最適化を図るとともに、顧客企業との連携を密にし、「たまごっち」及び「プリキュア」シリーズ関連製品を中心として、その他の新規商材及び新規顧客についても積極的に受注活動をおこない、売上高の拡大を目指しております。また、オリジナル商品販売においては、当社グループの今後の成長・発展の中心と位置づけ、そのため一層の経営資源の集中をおこない、的確な流行の把握及び販売時期の判断等のもと、売上高の増加に結びつけるべく継続的かつ積極的に取り組んでまいります。

② 固定費の削減

固定費の削減につきましては、引き続き積極的に努めてまいります。

③ 資金繰りへの対応

現在の事業方針から、投資及び出資等の多額の支出を伴う資金需要が発生しないため、現状の現金及び現金同等物の残高にて、当面の間の運転資金及び借入金の返済等が十分に賄える予定であります。また、資金調達につきましては、金融機関を中心とした手当により当面問題はないと認識しております。

なお、当社は、一部の金融機関より長期借入金として資金を調達しており、この借入金には以下の財務制限条項が付されていますが、現時点で当該条項に抵触する状態ではありません。

- ・事業年度末日現在の当社の純資産額が1,237,800千円以下とならないこと
- ・事前承認なしに、当社が第三者（当社の代表者、子会社等を含む。）に対して新たな貸付け出資または保証をおこなわないこと

以上により、当第1四半期連結累計期間における業績は概ね予定どおりに推移しており、当社グループは、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,046,146	1,034,990
受取手形及び売掛金	436,635	247,663
商品及び製品	32,091	36,034
仕掛品	23,534	33,893
原材料及び貯蔵品	61,428	74,351
その他	53,610	48,288
流動資産合計	1,653,447	1,475,222
固定資産		
有形固定資産	43,453	40,978
無形固定資産	2,787	2,533
投資その他の資産		
投資有価証券	518,310	518,460
その他	97,928	98,294
貸倒引当金	△311	△311
投資その他の資産合計	615,926	616,443
固定資産合計	662,167	659,954
資産合計	2,315,614	2,135,176
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	65,989	48,347
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	195,040	187,330
賞与引当金	—	9,243
その他	103,740	67,222
流動負債合計	464,770	412,143
固定負債		
長期未払金	265,526	265,526
長期借入金	91,200	57,000
退職給付引当金	61,887	58,886
その他	1,544	1,257
固定負債合計	420,158	382,670
負債合計	884,929	794,814
純資産の部		
株主資本		
資本金	555,235	555,235
資本剰余金	587,435	587,435
利益剰余金	294,150	201,771
株主資本合計	1,436,820	1,344,441
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	350	307
為替換算調整勘定	△6,485	△4,386
その他の包括利益累計額合計	△6,134	△4,079
純資産合計	1,430,685	1,340,362
負債純資産合計	2,315,614	2,135,176

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
売上高	331,557	341,510
売上原価	233,883	245,521
売上総利益	97,674	95,988
販売費及び一般管理費	213,772	192,594
営業損失(△)	△116,097	△96,605
営業外収益		
受取利息	78	66
受取配当金	1,127	505
為替差益	2,619	5,328
持分法による投資利益	173	217
その他	2	—
営業外収益合計	4,002	6,117
営業外費用		
支払利息	2,593	1,586
その他	—	13
営業外費用合計	2,593	1,599
経常損失(△)	△114,688	△92,087
特別損失		
固定資産売却損	77	—
固定資産除却損	40	—
特別損失合計	118	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△114,806	△92,087
法人税等	876	290
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△115,683	△92,378
四半期純損失(△)	△115,683	△92,378

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△115,683	△92,378
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	128	△43
為替換算調整勘定	△1,343	2,098
その他の包括利益合計	△1,215	2,055
四半期包括利益	△116,898	△90,323
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△116,898	△90,323

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日)

前連結会計年度において、アミューズメント事業を営んでいた株式会社ウィズダムを清算し、当社グループは、おもちゃ事業の単一セグメントとなったため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)

当社グループは、おもちゃ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。